

慶應義塾大学出版会

イチ押し

2024年2月新刊のご案内

日本文学 ご担当者さま

隠された芭蕉

高柳克弘（俳人、俳句結社「鷹」編集長）[著]

四六判上製／264頁 税込予価 2,750円 ISBN978-4-7664-2942-8 C0095

👉 ココに注目！

- ・注目の若手俳人・高柳克弘氏による待望の芭蕉論。
- ・現代文学としての芭蕉の魅力とはどこにあるのか。
- ・“隠された芭蕉”の俳句の魅力にあらためて光をあて、「俳句」に内包される表現の可能性を探る。

若手俳人として注目される高柳克弘氏による芭蕉論。芭蕉を「現代」の俳人として位置づけ、表現（いかに書くか）と主題（何を書くか）の両面から、“隠された芭蕉”の魅力を描き出し、その表現の可能性を探る。

対象 松尾芭蕉、俳句を中心とした古典詩歌に関心のある一般読者

類書 加賀乙彦『わたしの芭蕉』（講談社）

【営業部からのおすすめポイント】

著者の高柳克弘氏は「NHK 俳句」をはじめとする多数メディアへの出演経歴をもつ注目の若手俳人です。修士論文でも芭蕉論を執筆し、それ以降の年月も、芭蕉を考察し続けることが現在の俳句を考察することと直結していたという高柳氏が、今回満を持して展開する芭蕉論。正岡子規・高浜虚子以降に形成された俳句観の枠組みでは十分に解き明かすことのできない新たな芭蕉の魅力を追究します。数多くの芭蕉論が世に出ている現在も、いまだその魅力は語りつくされていないと感じます。ぜひ、積極的な展開をご検討ください。

（福本）

👉 **主要目次、注文書、著者既刊を裏面に掲載！** ぜひご確認ください！

【主要目次】

芭蕉、寂びることなく	——感情表現
未踏の旅へ	——時間表現
いかに読み応えを出すか	——比喻表現
失われた技術	——風景描写
世界の不思議に目をみはる	——理屈を超えて
調和を拒む	——虚実
仮面の誠実	——主体
重力からの解放	——軽み
明るい器	——死を詠む・その1
あの死者は我	——死を詠む・その2
痛みの詩学	——旅
価値を創り出す	——笑い
十七音の俳論	——俳句で俳句を語る
参考文献目録	
あとがき	



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			高柳克弘 著 隠された芭蕉 ISBN978-4-7664-2942-8 C0095	2,750 円	★★★★

著者既刊（ぜひ併せてご注文ください!）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	高柳克弘 著 どれがほんと？一万太郎俳句の虚と実 ISBN978-4-7664-2513-0 C0095	定価(税込)
			発行所：慶應義塾大学出版会	1,760 円